

千躰地蔵

増上寺境内の北側の端には、広く親しまれている仏尊である地蔵菩薩の像が約 1,300 体並んでいます。地蔵は子どもの守護者で、特に生きて生まれてこれなかったり幼くして亡くなったりした子どもたちの魂を守っているとされています。仏教の教えによれば、このような子どもたちはあの世の手前に流れる川を渡ることができず、河原にとどめられます。河原では、子どもたちは川を渡る許しを得るために石を積み上げて塔を作らなくてはなりませんが、夜になると鬼が出てきて積んだ石を壊すため、子どもたちは延々と石積みを繰り返さなくてはなりません。子どもたちの唯一の救いは、迷える子どもたちの魂を袖に抱えて川を渡らせるため、自らが救済されるのを見送った地蔵菩薩です。

お地蔵様の像は子どもを亡くした親たちが納めた頭巾と前掛けをまとっています。また、親たちはお地蔵様の加護に感謝するため風車などのおもちゃもお供えしていきます。お地蔵様が身につけているものは通常、阿弥陀仏の守護を表す色である赤色です。地蔵菩薩は、旅人や妊婦、さまよえる魂の守護者でもあります。